

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
英語	論理・表現Ⅱ	2	2	必修

到達目標	「聞くこと」、「話すこと（やり取り、発表）」、「読むこと」、「書くこと」という4技能5領域の力をつけ、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を行えるようにする。
------	---

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1学期中間	文の種類：さまざまな疑問文や命令文、感嘆文を適切に作り、それに応答することができる。また、単文、重文、複文の構成を理解し、まとまりのある文で表現することができる。 文型と動詞：5つの文型とThere isの構文を理解し、文を組み立てることができる。また、注意すべき自動詞と他動詞の使い分けができる	1年時に学習した内容を復習しながら、4技能5領域（読む、聞く、書く、やり取りする・発表する）に必要な表現を学び、知識や英語の技能を高め、単元ごとの様々なトピックを通じて思考力や表現力の習得を目指します。	
1学期期末	時制：基本時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて、書いたり話したりすることができる。 完了形：現在・過去・未来完了形の概念を理解し、それぞれの用法を区別することができる。また、共に使える語句を使って、適切に文を作ったり、表現したりすることができる	1年時に学習した内容を復習しながら、4技能5領域（読む、聞く、書く、やり取りする・発表する）に必要な表現を学び、知識や英語の技能を高め、単元ごとの様々なトピックを通じて思考力や表現力の習得を目指します。	
2学期中間	助動詞：助動詞のそれぞれの意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現することができる 受動態：受動態を用いた様々な文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝えることができる 不定詞：不定詞の様々な用法を学び、より詳細な情報を伝えることができる。	1年時に学習した内容を復習しながら、4技能5領域（読む、聞く、書く、やり取りする・発表する）に必要な表現を学び、知識や英語の技能を高め、単元ごとの様々なトピックを通じて思考力や表現力の習得を目指します。	
2学期期末	動名詞：動名詞の様々な用法を学び、動名詞句を使用した多様な文で伝えることができる。 分詞：名詞を修飾する用法や補語になる用法、また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現することができる。 関係詞：関係詞を用いて複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりできる。また、複合関係詞を用いて譲歩の意味を表すことができる。	1年時に学習した内容を復習しながら、4技能5領域（読む、聞く、書く、やり取りする・発表する）に必要な表現を学び、知識や英語の技能を高め、単元ごとの様々なトピックを通じて思考力や表現力の習得を目指します。	

学 年 末	比較：比較に関する様々な用法と表現を理解し、物事の状態を分かりやすく説明することができる 仮定法：仮定法を用いて、事実と違うことや実際には起こりえないことを述べるができる。	1 年時に学習した内容を復習しながら、4 技能 5 領域（読む、聞く、書く、やり取りする・発表する）に必要な表現を学び、知識や英語の技能を高め、単元ごとの様々なトピックを通じて思考力や表現力の習得を目指します。	
-------------	--	--	--

評価方法と 評価のポイント	知識・技能・・・ 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けよう。そして4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けよう。 思考・判断・表現・・・ 場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現することを目指そう。 主体的に学習に取り組む態度・・・ 外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろう。相手（聞き手・読み手・話し手・書き手）に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しよう。
---------------------------------	---

教科からのアドバイス 1 年生で学んだ内容を深めながら、英語の運用能力をアップさせていきます。語学は相手（聞き手、話し手など）がいることを忘れずに、伝え合う気持ちを忘れず取り組もう。
--